

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（3分）

ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

（使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（10分）

①かえる又結び ②巻結び ③もやい結び ④バックスプライス

（使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 網針に網糸を巻く（2分）

現場で使用している網針に5mの網糸を巻く。

（使用機材） 通常使用する網針、5mの網糸

(3) 破れ目の補修（15分）

網針と網糸を使い網地の破れ目（縦2目×横3目）を修理する。

（使用機材） 網針、網糸、網地

3. 漁具・漁労機械の操作

※（1）、（2）についてはどちらかを選択する。

(1) ワーピングエンドの操作（10分）

試験官の指示に従いワーピングエンドを起動、停止する。

ロープ20mを足元にコイルする。

（使用機材） ロープ20m、ワーピングエンド（縦ローラー又は横ローラー）

(2) 水中集魚灯の操作（7分）

①水中集魚灯を水面直下まで下ろし、点灯。

②コードを操作し、降下。指定された水深まで水中集魚灯を降ろす。

③水面直下まで上昇させ、消灯。

④集魚灯を収納する。

（使用機材） 水中集魚灯、集魚灯の操作盤

(3) 環5個に環網を結ぶ（3分）

（使用機材） 環5個、環網5本

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（3分）

まき網漁業で獲れる魚4種類の写真40枚を見て、魚種ごとに選別を行う。

（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意